



佐久市立望月小学校  
学校だより



令和4年(2022年)  
11月30日(水)  
(担当：校長)

## マラソン大会 ～仲間がいたから力を出せた、応援があったからがんばれた・・・～

11月25日(金)、好天に恵まれ計画した通りにマラソン大会を行うことができました。保護者の皆様には子どもたちの体調管理や参観・応援、そして大会運営へのご協力もいただき、ありがとうございました。

おかげさまで参加した人は全員が完走し、目標に向かって努力する爽快感や目標を達成した満足感を味わったり、弱い心や苦しさに負けないで頑張る新たな自分と出会えたり、応援してくれる人に感謝の気持ちをもてたりなど、充実した一日になりました。



仲間とともに走る子どもたち

6年生の振り返りと日記を紹介します。

**結樹くんと椋くんとほとんど同じペースで走れて**よかった。3位で少し満足いかない順位だったけど、**全力で走れて**よかった。

(さん)



→ 目標とする友だちがいたから、いいペースで走り全力を出すことができたのではないのでしょうか。

最後の農道で、右にはまくんと校長先生が見えた。**リタイアしようと思ったが、前がんばるみんなを見たら、「自分もがんばらないと・・・」**と思って走り切れた。

(さん)



→ 目の前がんばる友だちの姿を見て「自分も・・・」と頑張っている姿が目には浮かびます。

自分の記録をこえた理由は、一昨日のバスケ(明日チャレ!スクール)で**「応援すれば大きく変わる」と**言われたのを思い出したので、**応援のおかげだ**と思います。

(さん)



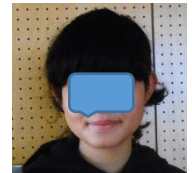
→ 「明日チャレ!スクール」で根木さんから聞いた言葉を思い出して、自分が頑張れたのは「応援のおかげだ」と振り返っています。学んだことを生かしています。

とうとう3時間目、小学校最後のマラソン大会。**2時間目休みから自分の目標を心の**中で何回も宣言しました。

3時間目、校庭に集合し、**5年生や保護者の方が応援してくれる中で「自分もがんばらな**きゃな。」と思いました。

さあ、出発のときがきました。自分がよかったところもありましたが、友だちのよさもありました。**すれちがうときに一言「がんばれ」などと応援してくれたことが「いいな」と**思いました。

(さん)



→ 目標をしっかりもって頑張り、自分のよさだけでなく友だちのよさを感じ、表現しています。

今日の3時間目は**待ちに待ったマラソン大会**でした。私の目標は2つあります。1つ目は「何位でもいいから限界をこえられるように全力で走りたい」です。2つ目は「前回よりも順位を上げられるようにがんばりたい!!」という目標でした。ママも応援に来てたけど、結果は44位で最下位でした。

**悔しかったけど、気持ちがよかったです。**

(さん)



→ 2つ目の目標が達成できず悔しさを感じながらも、その悔しさも含めて気持ちよく感じているのは、目標に向かって努力できたからだと思いました。

## 避難訓練 ～主体的に学び、行動できる子どもたちをめざして～

今回は休み時間の避難の仕方について訓練しました。

これまでは休み時間に火災が発生した場合、子どもたちは「集」と表示された避難集合場所に集まり、先生の引率で非難する・・・という避難方法でしたが、それでは避難が遅れる可能性があることや「低学年でも自分で判断して行動できる」という見通しから、今回から避難方法を変更しました。

そうして実施してみると、全員が安全に、そして昨年より早く避難を完了することができました。

そんな避難訓練の中で次のような2つの姿がありました。

緊急放送で「用務員室から出火・・・」と聞いて、用務員室の近くにいた人たちは

**A:最後まで放送を聞いてから避難した人**

**B:「用務員室から出火」と聞いて、すぐにその場から離れていった人**

の2つの姿がありました。

Aの人は「最後まで放送を黙って聞く」という約束を守ろうとしました。Bの人は火元を確認して、放送を最後まで聞く（約束を守る）より一刻も早く安全な場所に移動した方がよいと判断しました。

よく自主的と主体的の違いが話題になることがあります。辞書には

自主的・・・自分自身で物事を判断したり、処理したりするさま

主体的・・・自分の考えや判断によって行動する様子

(旺文社国語辞典から)

と記載されていますが、違いがわかりますか？

上記の事例にあてはめると、Aのように決められたとおりに自分から行動するのが自主的、Bのように状況を自分の目や耳で判断して、その時・その場で適切な行動をとるのが主体的となるようです。

文科省の学習指導要領には「**主体的で、対話的で、深い学びの実現**」と記載されています。自主的であることも大事ですが、学校では主体的な学びや行動をめざしています。

校長講話の最後にジャンプ問題を出しました。その答えを紹介します。

### (1) 校長室で

イチョウの葉は、かたいから強い。

イチョウの葉は、火にあたると汗をかくから。すべすべしていかたい。

さん

共有の問題: この葉っぱは何の木の葉っぱですか?

イチョウです。

ジャンプの問題  
イチョウはどうして火に強いのかな?  
(葉や幹をよく観察して考えて!)

校庭のイチョウ

→ イチョウの葉っぱを触って確かめたり、火にあたったときを想像して考えているところがいいですね。

### (2) グーグルフォームに寄せられた答え

ジャンプ問題の答えは、「イチョウの葉っぱには、他の葉っぱよりも水分が多く含まれているから」だと思います。なぜなら校長先生は「(関東大震災の火災で) イチョウの木が唯一残っていた」と言っていました。それを聞いて、火は乾燥している物に燃え移りやすいので、逆に乾燥していない水分が多い葉っぱに守られて多く残っていたのではないかなと思いました。

それに私はイチョウの葉っぱを触ったことがあります。他の葉っぱとは違う感触で、その時に水分が多く含まれていることがわかりました。あと、秋だから他の葉っぱは乾燥していてパリパリしていました。けれどイチョウの葉っぱだけがすべすべしていました。そのことから、イチョウの葉っぱは残っていたんだと思います。

(さん)

→ 話の内容から答えを予想し、実際に葉っぱを触ったり、他の葉っぱと比べたりして考えているところがいいですね。

ジャンプ問題の答えはイチョウも花咲かしいさんと同じで燃やされても耐えたからだと思います。イチョウも悲しみや苦しみをこえる生き方をしたんだと思います。

だからイチョウは残ったんだと僕は思いました。

(さん)

→ 前の校長講話の内容とも対比して、イチョウが今まで生きてきた過程に目を向けて考えているところがいいですね。